

校長室だより
NO. 45
平成31年1月7日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

3学期も「人のことを大切にしてく」ことを教育の軸に

あけましておめでとうございます。平成31（2019）年がスタートしました。今年の干支は己亥です。意味を調べますと、「己」は繁栄したものを統制すること、「亥」は生命が閉じ込められている状態ということで、己亥の年は「今現在の状況を維持し、守りの姿勢に徹した方がよい」と言われています。しっかりエネルギーやパワーを蓄え、次のステージに向けた準備期間ということでしょうか。

そのような年の初めですが、本日より3学期です。この3学期は、期間が短いものの、ねらいを明確にした取り組みをすることにより、逆に充実した期間とすることができます。その考えを基にして、本年度のまとめと次年度への橋渡しをしていきたいと考えています。



4年生が育てているサクラ草

さて、3学期の重点については、2学期から取り組んできました「人のことを大切にしてく」ことを引き続き求めていくこととしました。2学期からの継続で、今年の干支の意味である「守りの姿勢」と言われそうですが、まずは、これまでの成果を確かなものにするという意味で、「人のことを大切にしてく」ことをさらに広げていきたいと考えています。それは、次のような2学期の反省に基づいています。

2学期が無事に終わりました。何よりも大きなけがや病気をする子がいなかったのが良かったです。そして、終業式も全員で迎えられたのも良かったですと思いました。

さて、学習面での子どもたちのがんばり・成長は何かと言いますと、やはり、2学期の初めから取り組んできた「人のことを大切にしてく」ことを意識して指導してきましたので、1学期、下位だった成績がグンと伸びてきたことでした。算数のテストなどでよく表れていました。これは、授業中に友達の意見をよく聞いていたことがその原因にあげられます。また、生活面でも友達の話をよく聞くようになりましたので、友達を理解して、「ふわふわの木」に友達のよいところをたくさん書けるようになってきました。

3学期は、このことを生かして、5年という学年を意識させながら、学習・生活をいっそうよりよくなるようがんばらせたいと思います。（4年学級担任の指導記録）

これは、4年のある学級担任の2学期を振り返る指導記録です。この文から、2学期の成果を大いに感じます。そして、その要因となっていたのが、2学期初めから取り組んできました「人のことを大切にしてく」ことでした。このことは、2学期初めに、この校長室だよりでお知らせしたことであり、2学期の折々にも私が呼びかけてきたことでした。それがうまく学習面、生活面に生かされ、子どもたちが成長してきているようです。このような文と出会うととてもうれしくなりますし、このことは

教育のやりがいそのものだと思います。

文中には、学習面では「授業中に友達の話をよく聞いていた」ことで成績がグンと伸びてきたこと、また、生活面では「友達の話をよく聞くようになった」ことで友達を理解して友達のよさをたくさん見つけられるようになってきたことがあげられています。確かに、この学級の「ふわふわの木」にはたくさんのふわふわ言葉が付けられていましたし、その内容も友達からの思いやりを自分の力にしようとするものが多く見られました。

右の図は、2学期初めの「校長室だより」

(9月3日)に掲載したのですが、まさにこの通りに進んできていることが分かりますし、この考え方が確かであったことを教育実践を通して裏付けられているようです。これは、私の自信にもなってきました。

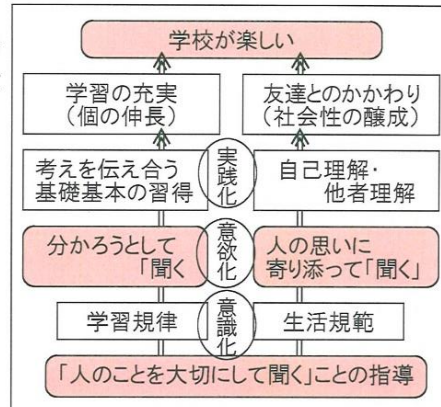
しかし、この取り組みは、全体的には十分とは言えませんので、この3学期にさらに深め、広げていこうと考えています。そのことが、本年度のまとめであり、次年度へ橋渡しとなり、意味あることと信じています。そういう意味で、この3学期をこのようなねらいを持って取り組んでいきたいと考えています。

それでは、簡単に3学期の取り組みをあげます。まず、学習面については、2月の「やれ検」「学力検査」を目標にしていきます。これはあくまでも、検査がすべての目的ではなく、それを目標に自分のできなかったことをできるようにする努力をすることを求めています。そのために、子どもが自分なりに計画的にどのように取り組むかが大切です。授業中、「進んで意見を発表する」「友達の話をよく聞く」ことを大切にするなど、具体的な目標を持たせていきます。

生活面では、ふわふわ言葉を広げ、前述したように「人のことを大切にしておく」ことを心がけられるようにしていきます。そのことが、友達との信頼関係をつくる上でも大きな意味を持ててきます。また、それは学習面でも生かされるでしょう。

行事面では、2月の「なわとび集会」に向けた「なわとび検定」と「長なわ」の取り組みを行っていきます。個人の目標、学級の目標を掲げて、それを達成できるようにすることを通して体力づくりを図っていきます。また、2月の「1/2成人式」では、4年生が来年度、高学年の仲間入りする決意をきちんとできるようにしたいと思っています。そして、3月の「卒業式」「お別れ式」では、6年生と下級生との別れを大切に、6年生にとっても下級生にとっても充実した意味のあるものになりたいと考えています。現在、4年のサクラ草、5年の菜の花を育てる活動は、その一環です。

3学期は1年の締めくくりとなり、この1年間の評価が問われます。そのため、これまでの子どもたちの心身の成長をさらに確かなものにする3学期としたいものと考えています。どうぞご理解とご協力をお願いします。



「人のことを大切に聞くこと」の構想



5年生が育てている菜の花